



雲の上のまち



た報

# けすばら



茶堂 (中の川)



四国カルスト



太郎川公園



冬の町並み



梶原町総合庁舎



越知面二十日念仏



八百とどろ



神在居千枚田



雲の上の図書館

新年のあいさつ 〈P2〜〉

梶原ファイターズJSC第13回春季全日本小学生男子ソフトボール大会出場〈P10〉

高知県社会福祉大会〈P10〉

越知面遊友館自前の炭窯完成〈P11〉

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会の活動について 〈P12〉

etc...

# 賀春

## 新年号

2020 〈令和2年〉  
No.739

●世帯数/1,788 (11月末)  
●人口/3,478 (11月末)

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は大変お世話になりました。本年が皆様方にとりまして、良き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。  
令和二年 元旦

梶原町長 吉田 尚人



昨年は、年明けから穏やかな天候に恵まれましたが、春先までほとんど雨に恵まれず水不足を心配する状況となりました。雪の中で水利を確保するためにご苦労される施設職員の皆様にご頭が下がる思いがしたことがつい昨日のことのように思い出されます。

観測史上最も遅い梅雨入りと梅雨明けの後は、数々の台風が発生し、その進路に一喜一憂させられました。このような状況の下、高原祭りとグルメ祭りを中止させていただきました。楽しみにしていたらつしやった皆様も多かったことと存じますが、事なきを得て胸をなでおろしたところでございます。

また、秋雨前線の活発化に伴う九州北部での豪雨や、台風15号と19号では関東地方から東北、北陸と全国各地で甚大な被害が発生し、改めて自然災害の強大化を確認させられ、出張の際に飛行機の窓から見えるブルーシートに被災地の皆様のご苦労をお察しいたしました。

被災された皆様にご心からお見舞い申し上げますとともに、一日も

早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

本町では、大規模な災害の発生はまぬがれましたが、町内各所で土砂崩れ等が発生し、住宅被害も発生いたしました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。早期の復旧に全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

近年、日本の近海で台風が発生し、その勢力も年々強大化してきております。また進路など、これまでの経験が参考にならないような状況となってきたことを痛感するところであります。

今、スウェーデンの高校生グループさんの気候変動問題に対する活動が話題となっております。私たちも自分のこととして何をすべきかを考え、関係者の皆様と様々な議論をし、できることから取り組んでいくことが必要であると考えております。

私は、町民の皆様がそれぞれの生きがいや幸福感を感じながら安心して安全に暮らせるまちづくりを進めていきたいと申し上げてお

ります。

そして、その実現に向けて「子々孫々に幸せな暮らしを伝える理想郷梶原へ」、「世界の課題解決先進地域」として経済を再生し、自然と共にある豊かな町民生活の実現を目指すことをビジョンとして掲げ、着実に取り組んでまいりたいと考えております。

昨年5月に、「あらためましてゆすはらです」という冊子を皆様に配布させていただきました。町民の皆様には、梶原町の現状や課題を考えるきっかけにしていたたくとも、私たちに与っては当たり前のことと受け止めてきています。町外から見れば素晴らしい資源や資産がたくさんあることを再発見いただき、改めて誇りと自信を感じていただき、子どもたちにも梶原への愛着を持ってもらいたい。また、町外の皆様には、梶原の魅力をアピールし、ぜひ足を運んでいただくきっかけにしてほしい、という願いを込めて作ったものです。

これらの宝は、この町の先人の皆様が将来に向けて汗水流して作り上げ守り伝えていただいたものです。それに磨きをかけ、よりよい価値をつけることで次の世代につながる梶原町が実現すると考えています。

ソサエティ5.0など社会はものすごいスピードで進んでいます。現在、多くの視察団や観光客の

皆様にお越しいただいています。が、井の中の蛙にならないため、時代の流れに乗り遅れないためには大きな意識の変化が必要であると改めて考えているところであります。

そのためには、町内外の皆様と、互いを尊重しあい、認め合う協力関係を築くことが不可欠であるとと考えております。

そうした関係を大切にする中で、その方々の知識や組織力など様々な知恵を提供いただき、アドバイスいただきながら、この町のあるべき姿を描くとともに支援をいただくことが必要であると考えるております。

昨年は選挙の年でしたが、尾崎知事の後を受け、濱田知事が誕生しました。これまでと同様に良好な関係を築き、未来に向けてしっかりとつながっていく梶原づくりに取り組んでまいりますので町民の皆様のご理解とご協力、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げますとともに、今年が皆様にとって素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

## 梶原町役場

梶原町長 吉田 尚人  
副町長 西村 新一

監査委員 山口 新一  
市川 岩 敏

市川 岩 敏

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

皆様におかれましては、すがすがしく新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。  
令和二年 元旦

梶原町議会議長 土釜 清



年頭に当たり、梶原町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様方におかれましては、日ごろから議会活動に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

地方創生が求められる今日、地方自治の自主・自立が一層重要となつてまいります。地域活性化に向け議会と行政が切磋琢磨して、地域に応じたまちづくりを進めていくことが求められております。まちづくりは時代の流れとともに斬新な発想を必要としており、我々議員にも新たな時代感覚と信念と目標を持つて一翼を担っていくことが求められております。議会の果たすべき役割と責任を自覚し、自らが将来の成長・発展の糧となるような地域資源を掘り起こ

しそれらを活用していく取り組みを、執行部とともに進めてまいります。大変厳しい時代に、地方はまさに生き残りをかけた正念場を迎えているといつても過言ではありません。議員は町民の皆様

の代表であるという認識をこれまで以上に持ち、信頼される議会を目指し、全ての町民の皆様が日々の生活の中で、一筋の光を見出すことができるよう、議会活動・議会運営に努めてまいります。

結びにあたり、私ども議会といえども、より豊かな住みよさなる創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待に応えられますよう決意を新たにしております。どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心か

らお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



梶原町議会議員・議会事務局の皆さん

## 梶原町議会

- 議長 土釜 清
- 副議長 下元 秀俊
- 議会運営委員会
- 委員長 西川 慶男

## 総務教育厚生常任委員会

- 副委員長 市川 岩亀
- 委員 森田 呂弥
- 西川 豊正
- 高橋 基文
- 中越 計清

## 産業建設常任委員会

- 委員長 中越 計清
- 副委員長 森田 呂弥
- 委員 下元 秀俊
- 土釜 清
- 西川 慶男

## 議会広報編集委員会

- 委員長 高橋 基文
- 副委員長 中越 計清
- 委員 西川 豊正
- 下元 秀俊
- 市川 岩亀

- 委員長 西川 豊正
- 副委員長 高橋 基文
- 委員 森田 呂弥
- 下元 秀俊
- 市川 岩亀
- 中越 計清
- 西川 慶男

# 新春のおよろこびを申し上げます

明けましておめでとうございませう。皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。令和二年 元旦

梶原町教育委員会 教育長 矢野 準也



旧年中は本町の教育行政にご支援・ご協力賜りまして、厚く感謝を申しあげます。

さて、これからの社会は、国際化、情報化、科学技術の発展、環境問題など変化の激しい、先行き不透明な厳しい社会が訪れると言われており、そのような社会のなかで子どもたちに必要とされるのは、いかに社会が変化しようとも、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、よりよく問題を解決する資質や能力と云われていきます。

また、最近ではAI技術の発展により、将来どこまで発展するのかわからない社会が来るように報道もされておりますが、AIがどんなに進化しようとも、その思考の目的を与えることができるのは人間であり、また目的の良さと正しさ、美しさを判断したり、複雑な状況変化の中で目的を再構築したりする力が人間としての最も大きな強みであると考えられます。また答えのない課題に対して、多様な他者と共同しながら目的に感じ、お互いが納得できる答えを見いだせるというのも人間であります。いくら人工知能が発達しようとも人

間にはできないことは必ずあります。そういった時代を生き抜いていくためには、基礎基本となる知識を身に付けると同時に、高い志や意欲をもつ自立できる子どもたちを育てることが重要になります。このことから、「自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会」の実現に向けて取り組みを進めてまいります。

生涯学習の拠点としてオープンいたしました雲の上の図書館は2年目を迎え、町民の皆様をはじめ、町外からも多くの観光客の方にお越しいただきました。子どもから大人まで多くの町民の皆様にあふれる集いの場所となるよう、今後にも充実した図書館運営に努めてまいります。

梶原学園では、これまでのイギリス・カナダの海外研修に加え、昨年8月には、初めての試みとして、梶原中学校・梶原高校の生徒を対象としたイングリッシュキャンプを四万川区で開催し、カリフォルニア大学バークレー校等からの外国人大学生とワークショップや野外活動などを通して、日常生活では体験できない刺激を受け、英語力の向上だけでなく、コミュニケーション力向上や異文化に興味

を持つ機会となりました。梶原学園共同調理場の老朽化による新築工事は、本年2学期からの給食開始に向けて着々と建設が進んでおります。これにより更なる学校の食育環境の充実を図り、安全で安心な給食の提供に努めてまいります。

幼児教育に関しては、「幼保連携型認定こども園」を設置して5年目となり、小学校につながる乳児期・幼児期の一貫した教育の充実に取り組みしました。

教育アドバイザーとして日向國雄氏にお越しいただいており、梶原町の幼児教育構造改革全体構想を作成し、これまでの経験も生かしながら、職員の育成と幼児教育にご尽力いただいております。

梶原高校では、中高連携の取組みとして、中高教員の授業交流や、梶原こども園園児と一緒に農業体験や避難訓練を行うなど、地域と連携した取り組みを続けています。また、校長先生を中心とし、生徒数の確保に向け在校生出身校への訪問に併せて町の主催する移住定住フェアに梶原高校が参加し、梶原高校の魅力発信をするなど、高校魅力化のための活動も行っています。

生涯学習におきましては、スポーツの推進、芸術文化振興等の活動に対する支援策として、梶原町スポーツ文化振興補助金を新設し、生涯を通して豊かな人生を送るための活動を支援しています。昨年11月には第13回春季全日本

小学生男子ソフトボール大会高知県予選会において、梶原ファイターズが優勝し、3月に埼玉県で行われる全国大会への出場が決定するなど、子どもたちの活躍に期待が膨らみます。

また、本年夏には東京2020オリンピックが開幕され、本町におきましても4月20日に聖火リレーが行われる予定となっております。スポーツにより夢と感動を与えてくれるオリンピックを、町民の皆様と一緒に盛り上げてまいりたいと思います。

地域ぐるみでの取り組みである学校応援団の活動では、地域の皆様のご協力をいただき、コミュニケーションスキルをおきましては、学校と地域が情報の共有ができるようになり、学校運営に協力をいただくとともに、今後更に多くの地域の方々に学校に関心をもついただき、地域の子どもたちを地域全体で育てていくことを目指して取り組んでまいりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。上げ新年のご挨拶といたします。

## 梶原町教育委員会

- 教育長 矢野 準也
- 教育長職務代理 岩本 直也
- 教育委員 掛橋 水
- 教育委員 西岡 利晃
- 教育委員 川上めぐみ

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。令和二年 元旦

高幡消防組合 梶原消防団 団長 森田 耕一



地域の皆様には、平素より消防団、女性消防隊、少年消防クラブ

そして幼少年消防クラブに温かいご支援、ご協力をいただきまして、衷心より厚くお礼申し上げます。また、団員・隊員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず献身的にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年各地で、地震・台風・大雨等による自然災害が後を絶たず、各地で甚大な被害をもたらしました。

5月には日向灘や千葉県北東部震源とする地震が発生し建物の倒壊や半壊などの人的物的被害が発生しました。

7月には台風5号及び梅雨前線による記録的な大雨となり西日本、東日本の広い範囲で土砂崩れや浸水などの人的物的被害が多く発生し、9月に発生した台風15号においても、千葉県において多大

な被害をもたらし尊い命が奪われました。

10月には沖縄県那覇市で世界遺産である首里城火災が発生し、多くの国民も衝撃を受けました。

本町においても、9月に工場、10月には倉庫が焼ける火災が発生しました。倉庫火災では、夜間ということで見え遅れましたが人的被害がなかったことは幸いです。

昨年の消防団及び女性消防隊の活動としましては、2月10日に恒例の出初式、3月31日には入団式を行い、13名の新入団員と1名の新入隊員を迎え、幹部に辞令交付を行いました。入団式終了後には、救急ボランティア(EVY)の発足式を執り行い、消防団員で組織する39名の隊員が誕生しました。

4月には高知県消防大会が県民体育館で開催され、「消防庁長官表彰永年勤続功労章」1名、「高知県知事消防団員配偶者功労感

謝状」4名を披露及び受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

7月7日には、恒例の梶原消防団・女性消防隊連合演習を開催し、消防団員の日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮しました。

9月1日には、高陵消防連合演習が須崎市で開催され、教練の部で第5分団が優勝。小型ポンプ操法の部で第5分団が優勝。ポンプ車操法の部で第1分団が準優勝という成績を収めました。

10月13日には、令和元年度高知県消防操法大会が開催され、梶原消防団から第5分団が出場しました。日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮し、参加消防団最短タイムで競技を終え、見事優勝という栄光に輝き、令和2年10月16日、千葉県市原市で開催される全国消防操法大会出場への切符を手に入れました。

消防団の装備充実につきまして、広野と川西路の2カ所に40t防火水槽を新設し、梶原町総合庁舎前駐車場に40t1基、大越グラウンド駐車場に100t2基の防火水槽がそれぞれ設置され迅速な消火活動が可能となりました。

本年も団員及び女性消防隊一同、町民の皆様の生命及び財産を災害から守り、安全で安心して暮らせる町づくりのために努めてまいりますので、なお一層のご支援ご指導をいただきますよう心からお願ひ申し上げます。どうか、この1年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様の健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 高幡消防組合梶原消防団

- 団 長 森田 耕一
- 副 団 長 玉川 義照
- 副 団 長 川上 博史
- 第一分団長 中越 和仁
- 第二分団長 神明 司
- 第三分団長 山本 浩辰
- 第四分団長 村田 澄夫
- 第五分団長 中越 修
- 消防主任 川上 聡

## 梶原町女性消防隊

- 隊 長 川上まゆみ
- 副隊長 廣瀬吾紀子
- 書記 吉田 敬子
- 会計 西村麻理子

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は組合事業推進につきましてご支援ご協力賜りましたことに、深く感謝を申し上げます。  
 令和二年 元旦  
 梶原町森林組合代表理事組合長 森山 真二



昨年中は組合事業推進につきましてご支援ご協力賜りましたことに、深く感謝を申し上げます。  
 我が国の森林資源の状況は、戦後造成した人工林が今まさに本格的な利用期を迎えてきました。

この豊かな森林資源は、適切な管理のもと「伐つて、使つて、植えて、育てる」循環利用により、地域の雇用や産業振興、さらには、林業・木材産業の成長化や地方創生への貢献が期待をされているところです。

そのためには、木材の需要拡大やその需要に対して国産材をいかに安定的に供給していくのが重要であります。とりわけ、これまでの木造化が進まなかった中高層建築物やオフィスビル、商業施設等の低層非住宅建築物の木造化・木質化に向けたCLTや耐火部材等の新たな製品・技術の開発普及やJAS構造材の普及支援等により、鉄やコンクリート等の他資材からの代替需要拡大への取り組みが強化されているところとす。さらに、民間建築物等における木材利用の促進に向け、需要者である建築事業者、設計事業者や建築物の施主となる個人や企業等との連携強化を図る取り組みも進めているところとあります。

このような中、平成31年4月より経営管理が十分でない森林を意欲と

能力のある林業経営者へ集積・集約化をし、経済ベースにのらない森林は市町村が公的管理を進める「森林管理経営制度」がスタートしました。町においても森林の文化創造推進室が設置され、県や企業と森林組合からの出向職員によるこれまでにはない新たな取り組みが開始をされ、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を目指しているところです。

また「森林環境譲与税」については、令和元年度において開始をされ、森林組合としては、新たな事業や雇用の創出を期待するところです。

さらに梶原町水源地域森林整備交付金も最終年度となり、出荷者の出材意欲拡大や林業事業者の経営基盤の拡充にもつながり、今後への継続に対する期待が高まっています。しかし、年当初の積雪はなかったものの、温暖化現象による異常気象や連続大型台風の襲来等による森林や作業道への被災や、猛暑による稼働状況の悪化が労働生産性に支障をきたし、やや町内全体での木材生産量に陰りが見えました。

令和元年度においては、原木取扱量は前年度同様、ペレット材を含め1万mを超え、組合製材工場への原木供給、町外への素材販売は低調ながら推移し、ゆすはらペレット工場への原材料供給も順調に進捗いたしました。

ました。また町内の森林も一部皆伐が進み、森林所有者においても、経営計画制度や町の交付金助成を利用しながら、次の世代につなぐ新たな森林管理を考えなければならぬ時期を迎えました。

森林整備事業では、30年台風災害による作業道の災害復旧事業を主体に、次年度に向けた経営計画の変更や、企業との協働による協働の森づくり事業や森林所有者の集約化を進めた森の工場施設用地による利用間伐を行い、その中で林業の担い手の確保・育成も進めてまいりました。

加工事業では、昨年完成をいたしました新国立競技場への認証材供給を契機に、引き続き四国島内、関西地域の工務店などとの販売を通じ、「顔の見える家づくり」による伐採・祈願祭や製材工場の見学会、また関西方面での工務店主催のセミナー等に参加し、安心・安全な梶原産材の営業販売を行い、例年並みの邸別受注生産確保に成果をあげることができました。

FSC森林認証は、19年目を迎え、11月には、FM森林認証（認証面積1万3千389ha）及びCOC加工流通過程認証（森林価値創造工場）についての年次監査を受けました。引き続き自然環境に優しい森林整備の実践や持続可能な林業経営を目指し、FSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めてまいります。

令和2年度においても、森林組合経営については、まだまだ事業体支援が必要で、現在森林の文化創造推進室で検討いただいております新たな

な担い手対策の仕組みづくりについて、森林組合としても意欲と能力のある経営事業体としての登録を行い、選ばれる事業体として、ゆすはらの森林づくりの一端を担っていく所存であります。

今後におきましても、森林の価値を高め、自然の力と調和した多様性のある森林、日本の中山間地域のモデルとして、理想郷梶原の森林づくりに関わってまいります。さらに新たな森林管理システムによる集約化事業での間伐や皆伐による木材の増産、そしてFSCブランドを活用した販売事業の強化・拡大を進めてまいります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、役員員一致結束して事業を推進してまいりますので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

### 梶原町森林組合

- |         |        |
|---------|--------|
| 代表理事組合長 | 森山 真二  |
| 理事      | 下村 繁男  |
| 〃       | 山口 敏   |
| 〃       | 竹倉 茂一  |
| 〃       | 上田 和弘  |
| 〃       | 久岡 國雄  |
| 代表 監事   | 中平 俊一  |
| 〃       | 山本 浩辰  |
| 〃       | 片岡 幸作  |
| 〃       | 西村 寿勝  |
| 参事      | 外職員 一同 |

# 謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますよう  
お祈り申し上げます。  
本年もよろしく願っています。  
令和二年 元旦

榑原町商工会 会長 長山 和幸



明けましておめでとうございませう。町内外の皆様には、日頃より商工会、商工振興協同組合の活動に、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

我が国経済は、当面弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復が続くことが期待されています。

しかしながら、中山間地域、本町では、全国に先行する人口減少や高齢化等に伴う経済規模の縮小に加え、経営者の高齢化、後継者難、人手不足も益々厳しくなり、消費税率の引き上げによる影響もあり、小規模事業者の減少や企業活動の低迷等、多くの課題を抱えています。

こうした状況下において、地域に根差した商工会が果たすべき役割や期待は、これまでにも増して大きく、かつ変化しています。

国の経営発達支援計画では、個々の事業所の売上増など定量的な成果が求められる伴走型支援、

行政とともに予期せぬ災害に備えた事業継続力強化支援計画の作成、事業者の防災・減災計画作成の支援、事業承継支援など従来の商工会の支援の枠組みとは異なる支援や対策が講じられるとともに、地域振興事業も今までにない取り組みが必要とされています。その着実な実行を担う法定経営指導員の認定制度も創設されました。

本会においては、このような国の新しい施策や小規模事業持続化補助金をはじめとする各種施策に加えて、高知県経営発達支援推進事業によるスーパードライバーや経営支援コーディネーターを活用し、小規模事業者の持続的な発展と地域経済の活性化をリードして行く取り組みを積極的に進めてまいります。

町行政をはじめ町民の皆様におかれましては、中小企業の支援施策のさらなる充実と商工会組織の強化、そして地域振興事業について、従来に勝る特段のご理解とご

支援をお願いいたします。

現在、商工会では、県の商工会連合会による人事の一元化（他町村の商工会に異動あり）を行っております。業務の多様化による仕事量の増加等、様々な課題もあります。

そのような環境の中、会員に寄り添うことが基本ですが、仕事が出来ない環境整備や、そのための地域振興、榑原づくりに、より一層邁進いたします。

商工会では本年も昨年に引き続き、小規模事業者持続化補助金の活用や金融の斡旋、巡回指導等、会員に直接役立つ事業はもちろんですが、地域経済が縮小している今こそ、地域経済の活性化のための産業として、観光分野への取り組みを本格的に進め「観光協会」の設立を目指します。

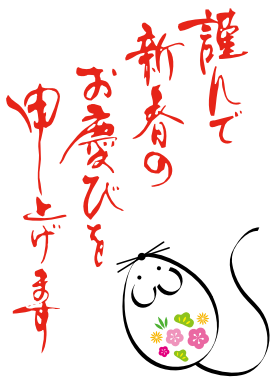
また働き手不足は本町においても益々厳しくなり、今のままでは、事業の継続ができない事も考えられるようになっていきます。外国人労働者は全国で146万人、高知県で2500人余りが就労していると公表されています。そういった取り組みも必要な時代になっており、その取り組みを進めてまいります。

会員の皆様、町民の皆様が本町で暮らしていくためには商工会、商工振興協同組合の事業も一助で

あると思います。これからも、榑原の伝統の上に時代に合った取り組みを進めてまいります。そのためには行政、各種団体の連携をより一層深め、連携からいわば連動にしなければと考えています。早くも令和元年が終わり2年が始まります。今年1年が、本町で暮らしている全ての人、関わりのある全ての人が幸せ多い1年でありますように。

## 榑原町商工会

会長	長山 和幸
副会長	山本 浩辰
理事	西岡 利晃
〃	下元 正八
〃	西川 陽子
〃	中山 博行
〃	安井 謙二
〃	川上 周一
〃	近藤 律子
〃	長山 亀一郎
〃	中越 貞幸
〃	上川 健一
〃	中越 哲臣
〃	新谷 正章
〃	戸梶 庄美
〃	中村 俊夫
〃	千光寺 俊和
監事	
〃	
外 職員一同	



各種団体・機関等 ※順不同

**梶原町区長会**

会長(四万川区) 空岡 則明  
 副会長(初瀬区) 矢野 敬明  
 区長(越知面区) 上田 末喜  
 (西 区) 西村 建雄  
 (松原区) 松山 榮喜  
 (東 区) 氏原 隼雄

**梶原町農業委員会**

会長 山本 正澄  
 会長職務代理 森田 呂弥  
 委員 谷川 恵美  
 農地利用最適化推進委員 上田 善啓  
 岡林 正勝  
 高橋 正知  
 中平 勝也  
 川上 厚志

**梶原町民生委員・児童委員協議会**

会長 西村 正義  
 副会長 川上 芳郎  
 会計 武正眞智子  
 監事 川上 善子  
 運営委員 中岡 勝寿  
 川上 寿久  
 片岡 志保

**梶原町選挙管理委員会**

委員長 坂本 重男  
 委員長職務代理 西村 茂則  
 委員 西村 朗  
 中岡 倫  
 主任児童委員 片岡 志保  
 久岡 健市  
 又川 幸子  
 高橋 正知  
 山口眞知子  
 白石さかえ

**高幡消防組合津野山分署**

分署長 西森 文啓  
 副分署長 森野 義博  
 外消防職員一同

**梶原町交通安全町民会議**

会長 吉田 尚人  
 副会長 土釜 清  
 理事 長谷部 悟  
 山中 照亞  
 梶原 哲哉  
 沖田 純輔  
 西森 峰雄  
 西森 建基  
 伊藤 一博  
 上川 涉  
 中越 靖  
 河野 純雄  
 石川 昇  
 吉村 文伸  
 松山 虎光  
 山口眞知子  
 青木 光夫

**交通安全指導員**

監事 土谷 善昭  
 二宮 健志  
 中越 浩一  
 坂本 重男

**社会福祉法人カルスト会**

理事長 中越 平  
 理事 空岡 則明  
 岡田 量  
 岩崎 悦子  
 熊岡 健  
 二宮 佳奈  
 山口 敏  
 矢野 豪佑

**梶原町魚族保護会**

会長 影浦 賢  
 副会長 西村 要吉  
 委員 村中 秀之  
 岡村 聖司  
 山中 照亞  
 松浦 博務  
 木原 正利  
 明神 武美  
 氏原 昇佐  
 中平 広重  
 松山 虎光  
 吉村 光義  
 高橋 基文  
 市川 岩亀  
 中越 緑

**梶原町人権擁護委員**

代表委員 川上 寿久  
 中平 宏

**行政相談委員**

中越 緑

**梶原町保護司会**

委員長 志手 功  
 市川 義幸  
 吉朗 吉朗  
 松山 榮喜  
 片岡 幸作  
 氏原 昇佐  
 宮本 友和  
 宮本 友和  
 高橋 栄子

**身体障害者相談員**

宮本 友和

**梶原町衛生組織連合会**

会長 永橋 信弘  
 副会長 西村 寿数  
 川上 政志  
 中岡 倫  
 宮本千恵子  
 久岡 俊彦

**健康文化の里づくり推進員**

11期生会長 西村 友祐  
**梶原町手をつなぐ親の会** 高橋 正知  
**梶原町身体障害者連盟** 宮本 友和

**梶原町戦没者遺族会**

会長 中越 計清  
 副会長 中岡 憲三  
 婦人部長 明神 治子  
 川上 一雄  
 西岡 寿久  
 二宮 吉永

**あゆみの会**

会長 藤原 良男

**梶原町環境美化推進組合**

組合長 島崎 勝男  
 副組合長兼会計 川村 善雄  
 理事 岡村 聖司  
 神明 靖  
 若宮 康秀  
 中越 大善  
 中越 譽  
 岡林 勝  
 石川 昇  
 久岡 喜美  
 西岡 利晃  
 中越 誠

**梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会**

会長 西川 陽子  
 副会長 上田 知子  
 推進員 川上 一美  
 川上 善子  
 岩本 美奈  
 廣瀬 栄子  
 来米 彩  
 玉川 太得子  
 中岡 幸恵  
 中越 信子  
 氏原 孝子  
 下元 孝美  
 若宮 康秀  
 中越 早苗  
 西岡 利晃

**梶原町広報委員会**

委員長 上田 末喜  
 副委員長 西村 幸美



社会教育委員・公民館運営審議会 委員長 空岡 則明 副委員長 久岡 智子 委員 高橋 基文 森田 呂弥 長山 和幸 山中 照亞 志手 功	梶原町読書活動推進委員会 委員長 加藤和嘉子 委員 宮本 愛美 奥崎 公太 森野 咲 西村 恭史 板垣 真央 中越 大輔 田尾 欣三 高橋 正知 中岡 幸恵	図書館協議会 委員長 高橋 正知 副委員長 吉村るみ子 委員 上田 末喜 空岡 則明 加藤和嘉子 西村 玉子 岡田 圭司 氏次 悟 西村麻理子 久岡 智子	梶原町スポーツ推進委員 委員長 山内 孝信 副委員長 西村 正義 委員 坂本 重男 山口眞知子 西村麻理子 中越 泰三 下元 秀俊	梶原町文化財審議会 委員長 西村 信明 副委員長 神原 哲哉 委員 松本 州平 土谷 善昭 松山 榮喜	梶原町人権教育研究協議会 委員長 氏次 悟 副委員長 岡田 圭司 久米 秀人 小笠原理佳	梶原町文化協会 委員長 久岡 智子 副委員長 影浦 賢 委員 西村 友祐 二宮 幸加 高橋 正知 中越 磨子	梶原町青少年健全育成成町民会議 委員長 志手 功 副委員長 矢野 準也	梶原町青少年育成センター 所長 中越佐由美 専任指導員 志手 功	梶原町老人クラブ連合会 委員長 山中 照亞 副委員長 志手 功 西添 正三 津野 壽正 氏原 壽雄 中越 順市	梶原町連合青年団 団長 高橋 元氣	梶原町婦人会 委員長 山口眞知子 副委員長 中越 郁子 上田 知子 中山 昭子 岡林美枝子 掛橋 初子	津野山広域事務組合 クリーンセンター四万十 職員 山下 正貴 下村 昭太	株式会社雲の上 工場長 大野喜美男 職員 中越 祥子	一般社団法人津野山畜産公社 事務局次長兼センター長 佐竹 紀章 牧場長・主任 西森 勘介 中岡 芳高 川上 真澄 永尾 啓太 玉川伊代菜 下村 秀仁 西添智枝美	シルバー人材センター 会長 掛橋 勤	梶原町社会福祉協議会 会長 中越 郁子 副会長 上川 雄康 理事 中越 平 吉村るみ子 吉富 正義 西村 正文 明神 孝洋 樋口 益也 山口 敏 高橋 正知	高知県高幡食品衛生協会梶原分会 分会長 新谷 章男	よつば会 会長 中越 緑	梶原町エプロン会 (食生活改善推進協議会) 会長 戸梶 圧美	げらげら家族会 世話人 掛橋 培子	梶原町精神障害者家族会 会長 長山久美子	NPO法人 梶原竹ぼうきの会 理事長 中越 計清	NPO法人 梶原竹絆 理事長 矢野 豪佑
-------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------	----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------	----------------------	-----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	-----------------	--------------------------------------	----------------------	-------------------------	-----------------------------	-------------------------

### 梶原ファイターズJSSC 第13回春季全日本小学生男子ソフトボール大会出場

梶原ファイターズは、雲の上のスポーツクラブの一つで、現在18名の小学生が毎日放課後練習に励んでいます。

11月3日(日)～11月24日(日)にかけて津野町葉山グラウンドで行われた春季全国大会高知県予選に出場しました。  
初戦の田野々スポーツ少年団



戦では苦しい展開となりましたが、5回裏に中越康介君が逆転のスリーランホームランを放ち、10-4の大差で勝利しました。準決勝は不戦勝となり、迎えた東津野スポーツ少年団との決勝戦では、終盤まで1点を争う好ゲームにエースの下村啓仁君が相手打線を5回ノーヒットに抑える力投。7-10のスコアで勝ち、見事梶原ファイターズ史上初となる優勝を果たし、全国大会出場という悲願を達成する事ができました。

大会を終えた選手は12月10日(火)に役場を訪れ、吉田町長に優勝を報告しました。主将の田尾元希君は「まずは全国大会での1勝を目指し、これからも練習を頑張ります。」と力強く決意を述べました。

全国大会は、3月27日(金)～30日(月)、埼玉県戸田市で開催されます。選手たちの今後の活躍を期待します。

### 高知県社会福祉大会

11月20日(水)、高知県ふくし交流プラザにおいて、第70回高知県社会福祉大会が開催されました。

この大会では毎年社会福祉に貢献のあった方々を表彰しており、長山久美子氏(東町)に高知県社会福祉事業関係者知事表彰、高橋勝也氏(文丸)に高知県社会福祉大会会長表彰を受賞されました。

長山久美子氏は、梶原町精神障害者家族会発足と同時に入会し、会長、副会長を長く務めながら平成20年に梶原町竹ぼうきの会が法人化する際にも理事長を務められました。就労支援B型作業所「竹ぼうきの会」、グループホーム「すみれホーム」の開所にもご尽力い



受賞された高橋勝也氏、長山久美子氏

### 法務大臣表彰

ただき、現在も家族会会長として高幡圏域の団体と協力しながら障がい理解に向けて活動を行っております。長年の社会福祉事業へのご功績が評価されたものです。  
高橋勝也氏は、平成19年12月から現在まで12年間民生児童委員として、また梶原町民生児童委員協議会副会長も務められ、地域の福祉の向上のためにご尽力いただき、地域住民からの信頼も厚く、熱心に委員活動に取り組んでこられたご功績が評価されたものです。



11月20日(水)、高知市のホテル三翠園で開催された「厚生保護制度施行70周年記念高知県大会」において梶原地区保護司の市川吉朗氏が法務大臣表彰を受賞されました。

更生保護活動に長年尽力され、日頃から安全で安心な地域社会づくりのため犯罪予防活動を推進してこられた実績が評価されたものです。  
今後とも犯罪のない明るい町づくりにお力添えをお願いいたします。

### 第25回参議院議員通常選挙 総務大臣表彰

### 梶原町選挙管理委員会委員長 坂本重男氏 受賞

令和元年7月21日に執行された第25回参議院議員通常選挙において梶原町選挙管理委員会委員長坂本重男氏が総務大臣表彰を受賞されました。

この表彰は、参議院議員通常選挙に関して、特に管理執行上その職務に精励し、また明るい選挙の実現に向け職責の遂行に尽力された功績に対して表彰されるものです。

坂本氏は、選挙管理委員長として公正な選挙管理執行や、若年層の投票率向上に向け、高校生に事務従事者として選挙事務を経験してもらい、選挙への関心を高めてもらうなどの啓発活動に取り組まれたことが認められ今回の受賞となりました。



## 越知面遊友館自前の炭窯完成



越知面遊友館自前の炭窯完成

11月28日(金)越知面遊友館が自前の炭窯を完成させました。

炭窯を自前で作ることにした理由は、①BBQ用の炭の購入が困難②梶原町には炭焼きの技能・技術を持った人がいるので先人の炭焼きの文化を継承したい③遊友館の宿泊体験に活用したい、などでした。

炭窯の製作は、平成30年7月に炭窯プロジェクトを立ち上げ、西村寛行氏に指導を受けながら炭窯づくりの計画を練り、合わ

せて西村氏の所有する炭窯を借用して、半年で10窯程度炭を焼き、炭焼きに関するノウハウを指導していただきました。

令和元年9月25日に炭窯製作に関する高知県の許可をいただき、10月14日より炭焼き小屋を竹倉茂一氏のご協力で作りはじめ、並行して炭窯の製作を始めました。西村氏の指導の下、メンバーが慣れない作業を通して、アイデアを出し合って、試行錯誤しながら完成したときには、しばらく忘れていた充実感を味わいました。

この炭窯が完成したのは、川上前区長が大切な土地を提供してくださったことと、越知面区の皆様のご協力によるものです。

60年前には、越知面の至る所で炭を焼く煙や匂いがしていました。化石燃料の需要が増加し、大気汚染、地球温暖化などの環境問題が深刻になり、木炭が見直されています。

これからは、自前の炭窯で焼いた炭を使っていただけるように、炭焼きの技能や技術を向上させたいと考えています。

遊友館は、宿泊、同窓会、合宿、

野外施設(BBQ)等の利用ができます。不明なことはお気軽にお問い合わせください。

BBQは冬季にもご利用いただけるように防寒用シャッターを設置しました。皆様のご利用をお待ちしています。

また、炭をご入り用の方には販売しますので、遊友館(0889・68・0888)までご連絡ください。

今後、遊友館では次のようなイベントを考えていますのでご利用ください。

- ①アマゴ釣大会(5月実施予定)
- ②三嶋五社神社お稚児募集
- ③炭焼き体験、そば打ち体験
- ④元気に健康寿命を延ばすハイキング
- ⑤田舎料理を食べて思い思いの時間を過ごす命の洗濯日等

特定非営利活動法人おちめん

理事長 上田 末喜

遊友館をご利用の際は、ホームページより遊友館利用申込書をダウンロードしてお申し込みください。

【ホームページ】

<https://skochimen0320.wixsite.com/yuyukan>

com/yuyukan

✉ skochimen0320@mm.pikara.ne.jp

# 栲原町廃棄物減量等推進員連絡協議会の活動について

## 会長 西川 陽子

私たち栲原町廃棄物減量等推進員連絡協議会は、日々ごみの減量や分別の推進などを呼びかけています。本年度の私たちの活動についてご報告させていただきます。

9月に、栲原学園の朝礼で時間をいただき、会長の西川陽子と副会長の上田知子のごみの分別等についてお話をさせてもらいました。クリーンセンター四十万のごみ処理について、ごみを食べ物、施設を口に例え、実際に可燃ごみの中に混入していた金属類を見せながら、「食べ物の中に硬いものが入っていたら、お口をけがしますよね。危ないものは絶対に入れないでくださいね。」と話す、先生方や生徒の皆さんも領きながら真剣に聞いてくれました。

また、「今年からビンごみのリサイクルを始めたので、ビンは、透明、茶色、その他の色に色分けをして捨てるよううちの人の

に教えてあげてください。」と呼びかけました。

栲原学園の皆さんはごみのことについてとてもよく考えてくれていて、私たちが去年視察に伺った愛媛県の金城産業(株)さんへごみの再資源化や分別について勉強をしに行ってくれていました。

今後とも子どもたちのお手本になるように私たち大人が先頭に立って、ごみの出し方について気を付けていきましょう。

10月には、産業祭で『くるくるショップ』を開催しました。くるくるショップとは、いらなくなつたものでまだ使えるものをほしい人に無料で提供する、廃棄物減量(リユース)の取り組みで、一日を通じて、約61kgのものをリユースすることができました。

また、「栲原町から、可燃ごみは毎月どれくらい出ているでしょう?」などといったごみクイズも行い、町民の方に栲原町のごみの現状についてお伝えすることがで

きたと思います。

11月には、高知市の田中石灰工業(株)さんの処理工場へ視察に行ってきました。田中石灰工業(株)さんは、本町のビンごみや、粗大ごみの処理を委託している会社でリサイクルするための分別処理の様子を視察しました。また、別の工場では容器包装プラスチック(ペットボトルなど)のリサイクルを行っている、素材ごとに分別し、さまざまな原料を製造して

いました。今回の視察を通じて、私たちが出しているビンごみや、粗大ごみはいろんな方法でリサイクルされ、様々な使い道があったり、今回ごみのことについてたくさん学ばせていただいたので、学んだことを今後の活動の中に取り入れていきながら、栲原町のごみの減量化や再資源化について考えていきたいと思えます。

また、回覧でお知らせしたとおり、今年の4月からビンごみのリサイクルが始まっています。それぞれ透明、茶色、その他の色で分別を行っておりますのでご協力をお願いいたします。



田中石灰工業(株)さんで勉強中



産業祭でくるくるショップを開催しました



栲原学園でごみの分別についてお知らせ

# 梶原学園だより VOL.91

## 小中一貫教育研究発表会

11月15日(金)、梶原学園小中一貫教育研究発表会が行われました。研究授業は、9年生の理科で、「酸性、アルカリ性の強さについて」の授業でした。

その後、研究協議を行い、全体会では、研究主任から梶原学園の研究の取り組みについて発表がありました。

今年度は、効果的なICTの活用について中心に報告がありました。ICT活用事例シート、6年生



小中一貫教育研究発表会

が制作した「梶原プロモーションビデオ」等について説明がありました。

講演は、文部科学省高等教育局専門教育課専門官の大根田頼尚氏に「学力向上と非認知能力の関連について」という演題で講演をしていただきました。

新学習指導要領では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」が大切にされています。一人ひとりの学力の伸びなどを継続して、把握していくことが大事であることをお話されました。

学力向上には、非認知能力である自制心・自己効力・勤勉性・やりぬく力が寄与していること、子どもが学びに向かうときの態度や学習の仕方について把握することなど教職員に向けての講演をしていただきました。

## 校外学習

11月25日(月)、全校でバスを利用して校外学習に行きました。1、2年生は、わんぱーくこうちに行きました。

3、4年生は、高知市清掃工場の施設見学をし、ごみ処理の



高知新聞まほろば工場見学

余熱を利用した温水プールのある「ヨネッツこうち」で水泳をしました。

5、6、7年生は、高知城博物館を見学し、高知新聞まほろば工場で夕刊が印刷されている様子や高知新聞ができるまでのお話を聞きました。

8、9年生は、愛媛リサイクルセンターを見学し、環境問題について考える学習をしました。午後からは子どもで城で過ごしました。どの学年もバスの中では、出し物やレクレーションをして有意義な校外学習になりました。

## 高岡地区PTA研修大会

11月30日(土)、高岡地区PTA研修大会(梶原町大会)が梶原学園で開催されました。

この大会には、9年生の神楽

発表、全校児童生徒による「ゆすはら」の合唱に続き、梶原学園PTAの実践発表がありました。

講演では、映画「ビリギャル」の主人公のモデル小林さやか氏による「ビリギャル流不可能を可能に変える5つのルール」という演題で中学生全員が話を聴くことができました。

今回、たくさんの高岡地区PTAの皆様の参加があり、梶原学園の児童生徒の発表、講演を盛大に終えることができました。

梶原学園PTAの皆様には、準備、駐車場係、受付など大変お世話になりました。



高岡地区PTA研修大会での全校合唱

一部の記事はホームページでも見ることができます。  
<http://www.yusuharagakuen.jp/>



# 栲原こども園だより



## 人権の花

11月28日（金）、人権擁護

委員の皆さんに花を持ってきていただきました。当日はあいにくの雨で、持って来てもらったピオラの花を委員さんと一緒に植えることはできませんでしたが、次の日に一人ひとり好きな色の花を選んで園の先生と一緒に自分の鉢に植えました。花の生長を見ながら明るい気持ちになつたり、自分の花を自分の手で育てていくことで子どもの心を豊かにし、命について考えることにもつながっていくと思います。幼児期のころから人を大切にし、命あるものには思いやりの気持ちをもつ心が



育ってほしいと願いながら、毎年行っている行事です。

## 絵本読み聞かせ

10月中旬から11月後半にかけて幼児組の保護者の皆さんによる「絵本読み聞かせ」を実施しました。この活動は保護者の方が園に来て自分の子どものクラスで絵本を読み聞かせてもらうもので、今年で14年目となりました。子どもたちは自分の大好きなお父さんやお母さんが絵本を読んでくれるとても喜んでいきます。友達のお家の方が来て読んでくれると、次は私（僕）と来てくれることを楽しみにしています。



ます。保護者の皆さんもたくさんの子どもの前で読むことは緊張したという声もありましたが、楽しんで読んでくれました。

## 幼児組参観日

12月7日（土）、幼児組の参観日「おたのしみかい」でした。踊りや歌、お話遊びを保護者の皆さんの前で発表しました。

「おたのしみかい」は子どもたちが主体となって楽しめるよう導入し、発達段階に合わせた内容や、お話のイメージの中で役になって、楽しさを感じながら表現遊びへとつ



ながるよう各組がそれぞれ取り組みました。

3歳児は「おおきなかぶ」、4歳児は「ともだちほしいなおおかみくん」、5歳児は「さるかに合戦」をしました。

お話遊びの中で、子どもたちは嬉しかったり恥ずかしかったり、いろいろな姿がみられました。友達や先生と一緒に頑張りました。自分を表現する楽しさやみんなで力を合わせ協力する大切さなど色々なことを学び、自信がついたのではないかと思います。



一部の記事はホームページでも見ることができます。  
<http://www.yusuharakodomo.jp/>

# 雲の上の図書館だより

Vol.15



新年のご挨拶

新春のおよろこびを

申し上げます

令和二年元旦



日ごろから、皆様の温かいご支援をいただきありがとうございます。ゆすはら雲の上の図書館は早くも2回目のお正月を迎えました。

旧年中は、4月から竹ぼうきの会さんのご協力のおかげでカフェをオープンさせることができました。また、5月には雲の上の図書館オープン1年祭、11月には複合福祉施設YURURIゆすはらとともに秋祭りを行うことができました。皆様のご支援ご協力に厚く感謝申し上げます。

今年も、子どもから大人まで多くの町民の皆様の憩いの場となるよう、愛される図書館を目指して努めてまいります。

また、梶原の生涯学習の場、文化継承、知の拠点としてお役に立てますよう励んでまいります。

## 図書館イベント

11月24日(日)、ミュージックライブラリーワールドツアーと題して、フルートとピアノのデュオ木藤麻衣子さん、井須聖子さんによる演奏が行われました。



フランスを題材に音楽と文学を交えた今回の演奏会。華やかで落ち着いた音楽に館内全体が包まれていました。

## 図書館あれこれ

### ビブリオバトルのやり方



ビブリオバトルをご存知ですか？持ち寄ったおすすめの本を5分間で紹介し、一番興味をひかれる本を選ぶ。12月に行われた、読書推進委員会の中で開催しました。本と読んでも何を讀んでいいのか分からないよ、という時に、ビブリオバトルを参考にしてみませんか。詳しくは、図書館職員や読書推進委員さんにお尋ねください。

### 本の紹介

#### 『心ふるえる土佐の味』

小島喜和 著



春夏秋冬、高知の郷土料理が色合い豊かに紹介されている本書。

高知新聞フリーペーパー『k+』の人気連載がこの一冊にまとまっています。新しい一年に、四季の美味しい土佐料理を知ってみませんか。

#### 『江戸おんな絵姿十二景』

藤沢周平 著



12枚の浮世絵に着想を得て織りなされる江戸に生きる人々の機微が描かれた短編集。冬の夜長にしみじみと響く一冊です。

## 雲の上の図書館 利用案内

開館時間：午前9時～午後8時

休館日：毎週火曜・最終週の金曜

貸し出し：図書10冊・DVD/CD5枚

\*貸し出しの延長が、1回できます！（本のみ）

\*電話での延長可能。

\*予約がある場合のみ不可。



雲の上の図書館 ☎ 65-1900  
<http://kumonoue-lib.jp/>

高幡租税債権管理機構及び南国・香南・香美租税債権管理機構、須崎市、土佐市、津野町からのお知らせ  
**不動産合同公売会について**

**公売とは**

「公売」とは、滞納税に充てるために差押えをした財産を売却することです。具体的には、公売会場において見積価額以上の金額を入札していただき、最高価額の入札者に売却していくもので、裁判所の行っている競売に類したものです。

**公売の方針**

行政サービスを支える財源の確保に向けて、差押えした財産は、随時、公売を行って税金に充てています。滞納の解消、税収確保のために多くの皆さんの参加をお待ちしています。

**合同公売会**

日時／令和2年3月5日(木)  
 開場／13時30分 入札／14時  
 会場／須崎市総合保健福祉センター  
 2階会議室

(須崎市山手町1・7)  
 ※今回は、高幡租税債権管理機構と管内の市町及び南国・香南・香美租税債権管理機構の合同公売会

の形式で、雑種地や農地などを売却します。なお、公売物件の所在地は須崎市、土佐市、四万十町、津野町になります。

**公売物件**

(所在地・地目種類等・登記地積)

番号	所在地		現況地目・種類等	登記地積(m <sup>2</sup> )	登記床面積1階(m <sup>2</sup> )	登記床面積1階以外(m <sup>2</sup> )
①	須崎市	浦ノ内西分字大島	雑種地	1,370.00	-	-
②	土佐市	新居字太子	宅地・居宅(一部雑種地)	435.90	97.48	-
③	津野町	新土居字平成	田	735.00	-	-
④	四万十町	仁井田字野田	宅地・居宅	277.81	86.66	30.66
⑤	土佐市	宇佐町宇佐字橋田	宅地・居宅	158.67	50.97	16.80
⑥	土佐市	中島字西大垣	宅地・居宅	915.70	71.02	27.15
⑦	四万十町	高野字サクラ谷	田	4,312.00	-	-

※①～③は所在地の市町、④は南国機構、⑤～⑦は高幡機構が出品する物件です。  
 ※各物件について、状況によって公売が中止になる場合があります。

**入札に必要なもの**

《全員》保証金(現金に限る)、  
 運転免許証など身分を証するもの、印鑑(認印)

《代理人》委任状

※公売物件が農地の場合は、所在地の農業委員会発行の「買受適格証明書」が必要です。

(今回は、四万十町の農業委員会には2月10日までに、津野町の農業委員会には2月14日までに申請していただく必要があります。)

**その他**

■保証金納付期限

3月5日(木) 14時  
 公売会当日、各物件ごとの保証金を納付いただきます。

■買受代金納付期限

3月12日(木) 14時  
 買受代金は落札額から保証金を控除した金額です。

■所有権移転登記

費用負担と住民票等の提出を条件として、執行機関が代行することができま

※公売や物件の詳細(見積価額等)は、高幡租税債権管理機構のホームページをご覧ください。左記連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】

高幡租税債権管理機構  
 住所／須崎市山手町1・7

☎0889・40・0911

南国・香南・香美租税債権管理機構

住所／南国市蛸が丘1・1・1

☎0888・8555・6776

須崎市役所税務課

住所／須崎市山手町1・7

☎0889・42・1291

土佐市役所税務課

住所／土佐市高岡町甲2017・1

☎0888・8522・7629

津野町役場町民課

住所／津野町永野471・1

☎0889・55・2314

**相続登記無料相談会開催**

高知県司法書士会では、2月の1カ月間を「相続登記はお済みですか月間」と定め、2月1日(土)、県内10箇所<sup>※</sup>で無料法律相談会を実施します。相続登記をはじめとして、法定相続情報証明制度、遺言、遺産分割協議など相続に関する相談に応じ、適切なアドバイスを行います。

■日時／令和2年2月1日(土)

10時～15時

■場所／四万十町役場東庁舎

(高岡郡四万十町琴平町16・17)

問合せ／高知県司法書士会

☎0888・8255・3143

総合相談センター



### 須崎税務署からのお知らせ

#### 令和元年分所得税、贈与税、消費税等の確定申告における申告会場設置について

**所在地等** 須崎税務署1階事務室(須崎市青木町1-4)  
**開設期間** ☎0889-42-2355(代表)  
 令和2年2月17日(月)~3月16日(月)※土、日曜日除く  
**受付時間** 午前8時30分~午後4時  
 (相談開始は午前9時からです。混雑状況により、午後4時前でも受付を終了する場合があります。)

#### 注意事項

- 上記期間より前は、確定申告会場を設置しておりませんのでご注意ください。(ただし、作成済みの申告書等の提出は受け付けています。)
- 会場の混雑状況により、長時間お待ちいただくことがあります。

#### ご自宅から e-Tax で申告を!

確定申告期間中は、申告会場が大変混雑しますので、ご自宅でご申告ができる e-Tax 申告を是非ご利用ください。

#### 【ID・パスワード方式】

①ID(利用者識別番号)と②パスワード(暗証番号)により、マイナンバーカードやICカードリーダーライターをお持ちでない方でも、パソコンやスマートフォンで e-Tax 申告ができます。

※ID・パスワードの発行を希望される方は、申告されるご本人が運転免許証などの本人確認書類をお持ちの上、税務署にお越しください。

※国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」でのみ利用できます。

#### 【マイナンバーカード方式】

①マイナンバーカードと②ICカードリーダーライター又はマイナンバーカード対応のスマートフォンがあれば、パソコンやスマートフォンから e-Tax で申告ができます。

### 放送大学 入学生募集のお知らせ

○放送大学は、4月入学生を募集しています。  
 ○心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

○全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。  
 ○資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学高知学習センター(☎088-843-4864)までご請求ください。  
 ○出願期間は、第1回は2月29日まで、第2回は3月17日まで。

## 2月の行事予定

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 8日(土) 環境整備デー        | 15日(土) 梶原学園1~6年生学習発表会 |
| 9日(日) 梶原消防団女性消防隊出初式 | 17日(月) 所得申告受付開始       |
| 12日(水) 人権相談・行政相談    | 20日(木) 梶原町交通安全の日      |

## 2月の保健福祉支援センター行事予定

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 3日(月) げらげら家族会       | 13日(木) 越知面デイサービス友の会       |
| 5日(水) 松原サテライトデイサービス | 19日(水) 西区いきいきふれあい広場(下西の川) |
| 6日(木) 四万川宅老所        | 20日(木) 四万川宅老所             |
| 7日(金) 初瀬いきいきふれあい広場  | 21日(金) 東区いきいきふれあい広場、大向宅老所 |
| 12日(水) 愛育相談・妊婦相談    | 27日(木) 四万川いきいき交流会         |

- 毎週月曜日** 育児サークル(図書館内子育てコーナー)午前10時~12時  
 ※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。
- 毎週水曜日** 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
- 月曜日~金曜日** 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)  
 ※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

**ゆすっこ相談センター相談日** 4日(火)半日、18日(火)終日  
**川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)** 17日(月)、18日(火)  
 ※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。

### 編集後記

子どもの頃のお正月の遊びといえば、女の子なら「羽根つき」や「てまり」、男の子なら「凧あげ」や「こままわし」。「もういくつ寝るとお正月♪お正月には凧あげて♪こまをまわして遊びましょう♪」という歌があるようにお正月によく見られる光景でしたが、時代とともに見るのが少なくなりました。山に行き竹を切り、割った竹を薄く削り、竹で骨組みを作り、新聞紙を張って凧の出来上がり。どうしたら高くあげられるか、子どもながらに試行錯誤しながら作った記憶があります。

なぜ、お正月に凧あげをするのか？凧は、平安時代に貴族の遊びとして中国から伝わりました。もともとは凧の形がイカに似ていたことから「いかのぼり」や「イカ」と呼ばれ、江戸時代には、いかにぼりが大流行し、通行妨害やけ人がでることもあり幕府から「いかのぼり禁止令」が出されたほど。・・・それでも「イカ」ではなく「タコだ」と言い訳をしてあげていたことから、明治初期にはタコ(凧)が標準語となったそうです。

年の初めに男の子の誕生を祝い、凧が空高く舞い上がる様子を子どもの成長と重ね合わせ祈願する説などなど、由来や意味を知ると奥深さを感じます。子どもたちに一度は経験させてあげたい凧あげにチャレンジしてみませんか。

広報編集委員会



# 文芸

## 烏帽子俳句会

人の言う老いとは何ぞ枇杷の花  
瀬戸口登貴恵

冬の虹庭園の美し美術館

西村 智子

湯たんぽを探る足先明け近し

古野 節子

交番に伝言のあり冬木立

下元 澄子

寒鯛を捌く店主の笑顔かな

ヒネ・バンビ

振り向いた狐古木に化けたはず

千光寺昭子

吾の首にしがみつくと冬木立

宮崎真由子

冬の蝶漠然として老いの来る

中越 律子

冬木立梢に通ふ日の温み

岩元 美美

擁壁をキャンバスに冬の草紅葉

岩井 章子

## 杉の子俳句会

生きていることの不思議さ初日の出

氏原 陽子

宝船子供の帰郷だけでよし

野中 胤雄

天皇に即位した夢初日の出

影浦 鉄心

胸張って気分一新歩き初め

下元 廣幸

一峰の初東雲しのめや恙つつがなし

久岡 智子

歳重ね夕に食して朝あしたに覚え

大崎みなと

街路樹のイルミネーションもがり虎落笛

西村 幸枝

年明ける大海原のイービス艦

掛橋 初子

我がDNA長い旅路の冬銀河

川田 早苗

注連飾り飛ぶように売れ漁師町しめ

内野 純子

千年の歴史を語る神楽舞

西村 蓉子

河豚ふぐづくし伊万里の大皿薄化粧

明神伊佐子

## 柚子の木俳句会

しなやかに先頭きつて暮の馬場

西村由利子

冬眠や熊も仕度に庭に来る

中平 忠雄

庭先の雪虫フワリ手のひらに

中越 郁子

この落葉幾年かけて土となる

渡辺 瑞枝

冬期なり野山の動物冬眠す

中越 秋子

柚の酢取り中身は風呂に皮は煮て

吉田 敬子

極月に媚びを売るのみ迷い猫

広瀬 卓雄

## 川柳

十二支も 始まり令和 新時代

ベトナムへ 娘出発 毬持たす

西村 美子(二句掲載)

助手席も運転席も死語となる

河野 哲夫

## 狂歌

全自動△○自動運転エトセトラ

いきつく果ては自動人生

(あゝ無情)

河野 哲夫



たね けすはら 賀正 1月号 No.739

発行所/高知県高岡郡辨原町役場  
☎0889-65-1111  
URL http://www.town.yusuhara.kochi.jp/  
発行兼編集/辨原町役場 印刷所/南中島出版印刷